

平成20年4月1日

平成20年度定期採用者入庫式について

横浜信用金庫（横浜市中区尾上町2-16-1 理事長 斎藤寿臣）では本日午前10時より、平成20年度定期採用者の入庫式を行いました。今年度は、総合職64名、一般職46名、合計110名が入庫し、60部店に配属されました。入庫式では、斎藤理事長より以下の訓示がありました。

* 理事長訓示の要旨

本日から横浜信用金庫の職員となられる皆様を心から歓迎します。

金融機関の一番の特徴は信用が大事であるということです。当金庫の信用はとりもなおさず職員一人ひとりの信用の積み重ねです。毎日多額のお金を扱う職場ですが、これは皆預金者の大事なお金であることを常に意識して緊張感を持って仕事をしてください。信用されるためには約束した内容や時間を守る、健全な生活態度を維持する、真面目な執務態度や正確な事務処理、きちんとした服装等を心がけてください。皆様の存在が当金庫の信用をますます高める、そういう職員になってください。

第二は自分の能力の向上つまり研修や勉強の必要性についてです。仕事をしていくためには常に自己開発のための努力が必要です。当金庫では段階に応じていろいろの研修プログラムや通信教育講座がありますので積極的に参加してください。

また、新聞の経済欄を読む習慣をつけてください。日々の仕事のうえでも、お客様との会話でも読んでいることがどんなに役立つか解ると思います。

第三は常に地域のために役立つことを忘れないでください。当金庫は神奈川県東部を主要基盤とする地域金融機関です。地域の発展はとりもなおさず当金庫の発展につながります。勿論地域金融機関としての最大の役割は地元の資金を必要とする方々に資金を供給して経済活動や生活に貢献することです。そればかりでなく例えば来年の横浜開港150周年各種行事に協力する、地元のコンサートに協力するなどいろいろな活動を行っています。また支店でもその地域でいろいろな催しがありますので皆様の積極的な参加を期待します。

当金庫は創立以来常に地域で存在感のある金融機関として発展してきました。これからも着実にこの道を歩んでいきたいと思っております。どうか一日も早く職場にとけこんで横浜信用金庫の立派な職員となることを期待します。

* 定期採用者内訳

・総合職	64名	(大卒：64名)
・一般職	46名	(大卒：38名 短大卒：5名 専門卒：3名)
合計	110名	男性：55名 女性：55名

たしかな明日のお手伝い



横浜信用金庫

神奈川・東京に60店舗